

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 東神楽町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数：小学校3校・児童数104名、中学校1校・生徒数104名

○ 実技に関する調査の状況

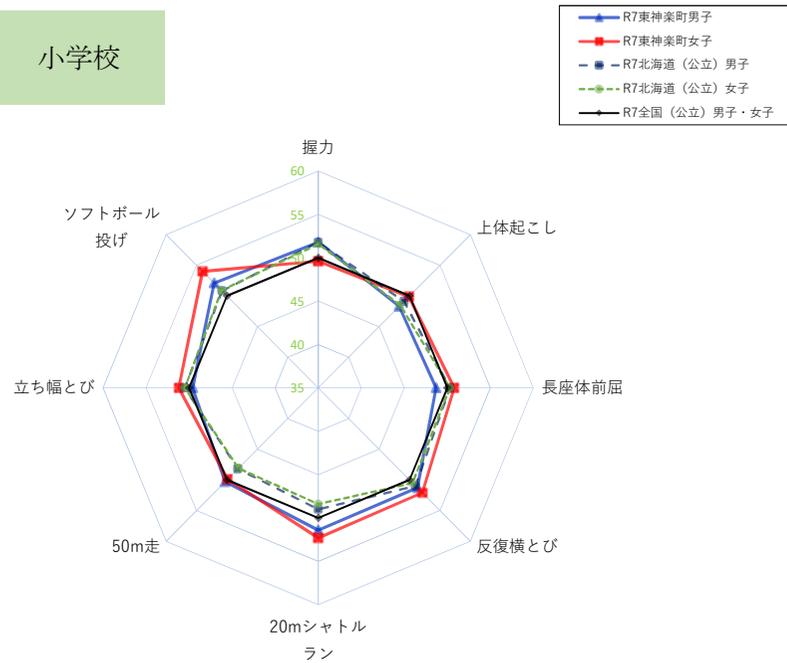
・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7東神楽町男子	16.66	18.43	32.75	42.02	50.92	9.43	150.05	22.82	52.95
R7東神楽町女子	15.44	18.30	38.91	40.31	40.48	9.78	145.14	15.02	55.33
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.55	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

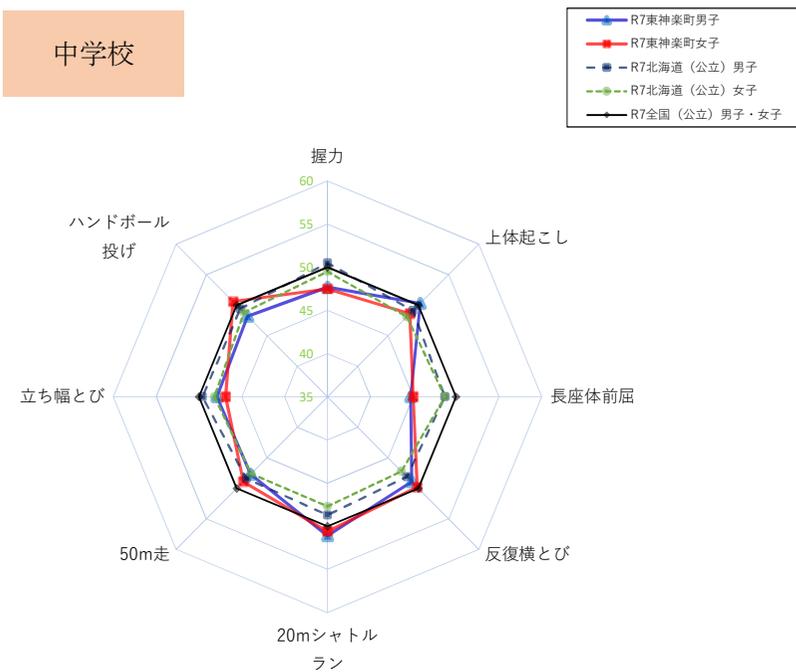
中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7東神楽町男子	27.26	26.26	39.04	50.57	81.71	8.21	190.65	19.60	39.24
R7東神楽町女子	21.94	22.00	41.49	45.55	51.86	9.08	157.61	12.69	45.65
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.40	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・各種目の全国平均値を50とした場合(T得点)の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示

小学校



中学校

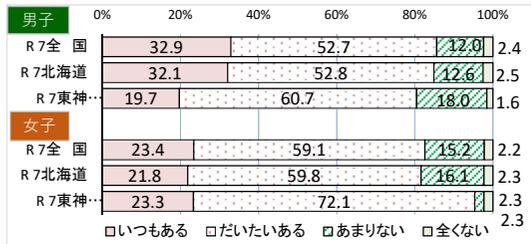


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

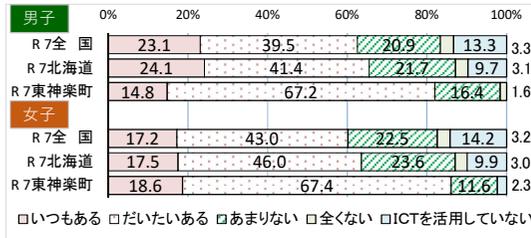
【児童質問調査】

・体育の授業で、目標を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか



【児童質問調査】

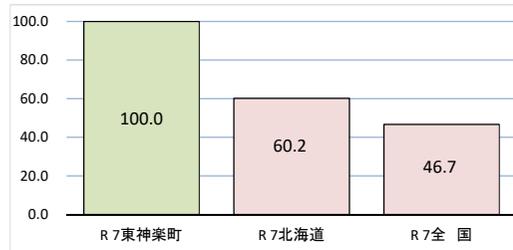
・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか



【学校質問調査】

小学校

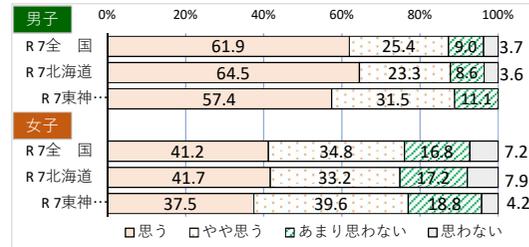
・体育授業において週に1回以上ICTを活用している。



中学校

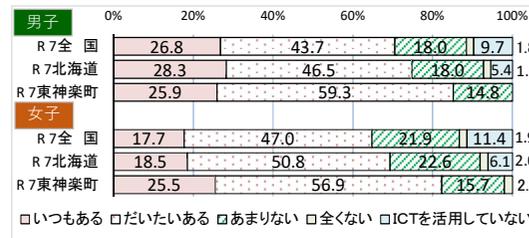
【生徒質問調査】

・中学校卒業後、自主的に運動したいと思いますか



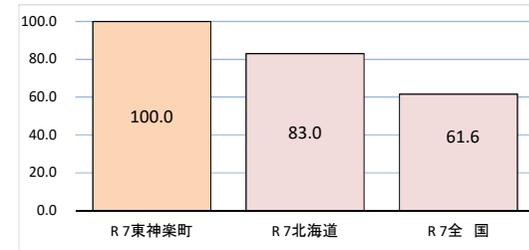
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか



中学校

・保健体育授業において週に1回以上ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・各小学校において、体育授業において継続的にICTを活用し、動画を使って児童自身が動きの変容を見ることができるようになるなど、指導の工夫を行ったことにより、体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると回答した児童の割合が、全道及び全国を上回ったと考える。

【課題】

・体育の授業で、目標を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがあまりない、全くないと回答した男子の割合が、19.6%であるため、児童の学びに沿った単元を通した明確な課題を設定し、児童が主体的に学ぶことができるようにする必要がある。

中学校

【成果】

・中学校において、保健体育授業において継続的にICTを活用し、生徒同士が動画等を用いて互いに学び合うことができるよう指導の工夫を行ったことにより、保健体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・中学校卒業後、自主的に運動したいとあまり思わない、思わない生徒の割合が男子11.0%、女子23.0%であるため、保健体育の授業で全ての生徒が運動の楽しさを実感できるようにするとともに、授業以外の場面においても、運動に親しむことができる環境設定を行う。

■ 東神楽町の体力向上に向けた改善方策

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた指導等の工夫・改善など体育及び保健体育の授業改善
- ◎ 休み時間や放課後など、体育の授業以外の運動時間の確保及び指導体制の充実
- ◎ 小学校の結果を踏まえた中学校での指導の工夫・改善等、小中連携による系統的な教育活動を展開するための組織体制の構築
- ◎ 地域と連携した、誰もが運動に親しむことができる環境設定の推進